

浮世絵版画の頂点を極めたコレクション

春信／写楽／歌麿／北斎／広重  
**平木浮世絵コレクション大全**  
平木浮世絵財団・監

重要文化財11点、重要美術品238点を含む保存状態のすぐれて良い貴重な作品の数々によって知られている、平木浮世絵コレクション。その歴史は古く、戦前、日本が世界に誇った三大浮世絵コレクションのうち、「三原コレクション」「齋藤コレクション」を基に設立された日本初の浮世絵専門美術館・リッカー美術館のコレクションを継承・拡充して誕生しました。

本書では、所蔵作品約6000点の中から、名品中の名品370点を厳選して収載。全点新規デジタル撮影、最先端のデジタル印刷技術により、作品の美しさ、江戸時代の色彩と風合いを正確に再現しています。B4判という大型の判型で、作品の原寸掲載が可能となりました。

装丁は、世界的なデザイナー・原研哉氏。手織り調の布クロス貼りのケース、箔押しを施した題簽など、書籍自体がひとつの美術品であるような佇まいです。

さらに、第一線の浮世絵研究者による詳細な作品解説と最新の知見に基づく書き下ろしの論考を掲載。浮世絵史を概観できる豪華画集です。



4月30日発売  
定価：66,000円(税込)  
B4判／538ページ  
ISBN978-4-09-682339-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682339>

スコットランドの蒸溜所150を網羅!

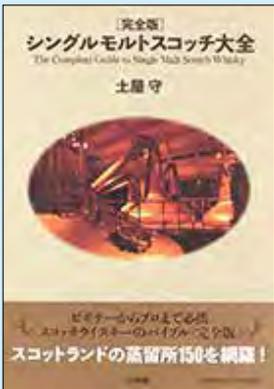
完全版  
**シングルモルトスコッチ大全**  
土屋守・著

今や世界的なブームとなったシングルモルトウイスキー。日本でその人気の牽引役を果たし、「バーテンダーのバイブル」ともいわれる『モルトウイスキー大全』を四半世紀の時を経て大々的にアップデートしました。

現時点で創業が確認できている蒸溜所127か所と、閉鎖された蒸溜所23か所の計150か所。この中には、創業までもなく、未だ製品がリリースされていない蒸溜所の情報も含まれています。

現行ボトルや蒸溜所風景など、写真も刷新したほか、テイステイングも再試行。10点満点の評価も新たな試みです。

この一冊で、シングルモルトスコッチウイスキーのすべてがわかる決定版です。メーカーや酒販店、バーテンダーなどプロの方々はもちろん、ウイスキーに興味があり学びたい方には是非おすすめしたい一冊です。



5月18日発売  
定価：4,400円(税込)  
A5判／328ページ  
ISBN978-4-09-388814-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388814>

◆土屋守(つちや・まもる)

作家、ジャーナリスト、ウイスキー評論家、ウイスキー文化研究所代表。学習院大学文学部卒業。日本初のウイスキー専門誌『The Whisky World』、『ウイスキー通信』の編集長として活躍し、現在はその2つを融合させた新雑誌『Whisky Galore』の編集長を務める。

動物だらけの江戸の町へようこそ!

江戸の動物大集合!  
**浮世絵動物園**  
太田記念美術館・監  
赤木美智／渡邊晃／日野原健司・著

愛情を注がれる猫や犬、日々の営みを助けた馬や牛など、日々の暮らしとともにした動物から、おめでたい鶴や亀、地震を起こすとされた鯨など、人々の願いや想いが託された動物、さらには舶来の珍獣まで、浮世絵には、さまざまな動物が登場します。

その多彩な表現は、「かわいい!」「おもしろい!」「ちよっとへん!」と、見てただけで楽しいもの。でも、さらにそれらを読み解いていくと、当時の人々の暮らしが動物とともにあり、また、ときに神聖でときに恐ろしい、動物のもつさまざまなイメージもふくめて、人々が動物たちを愛でていたことが見えてきます。

東京・原宿の浮世絵専門美術館、太田記念美術館が所蔵する約1600点の浮世絵で、江戸絵画の動物表現を楽しむとともに、江戸の人々と動物の深い関わり方を伝える一冊です。



5月19日発売  
定価：2,640円(税込)  
B5判／128ページ  
ISBN978-4-09-682360-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682360>

◆赤木美智(あかぎ・みち)

大阪大学大学院文学研究科文化表現論博士後期課程単位取得退学。太田記念美術館主幹学芸員。

◆渡邊晃(わたなべ・あきら)

筑波大学大学院博士課程芸術学専攻科修了。太田記念美術館上席学芸員。

◆日野原健司(ひのはら・けんじ)

慶應義塾大学大学院文学研究科前期博士課程修了。太田記念美術館主幹学芸員。

累計100万部の著者による筋トレ本集大成

## 世界一細かすぎる筋トレ図鑑

岡田隆・著

ボディビル大会優勝経験者にして、トップアスリートから高齢者までを指導し、著書は累計100万部超、YouTubeチャンネル登録者数18万人の日本体育大学准教授が「集大成」として世に出す、種目数180超えの初心者からプロトレーナーまでに響く筋トレ本！



4月28日発売  
定価：1,870円(税込)  
A5判／240ページ  
ISBN978-4-09-310680-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310680>

ロープで作る海を感じるホームアクセサリー

## ロープノットのインテリア

メルヘンアートスタジオ・著

アウトドアや日常生活のなかでも役立つロープワークのテクニックを応用した海を感じるインテリア雑貨作りを紹介。太いロープでサクサク作れて、ひとつあるだけで存在感たっぷりのアイテムが完成します。



5月18日発売  
定価：1,595円(税込)  
B5判／96ページ  
ISBN978-4-09-307005-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09307005>

世界が舞台の歴史冒険、ますます白熱！

## 世界史探偵コナン

10 アラビアンナイトの真実

11 マリー・アントワネットの真実

12 月面着陸の真実

青山剛昌・原作

誰もが待ち望んだ『世界史探偵コナン』最新刊は、一挙3巻同時発売！「コナンとタイムドリフター」の歴史冒険から、ますます目が離せない！



5月19日発売  
定価：(各)1,078円(税込)  
A5判／(各)160ページ  
ISBN978-4-09-296706-9(10)  
ISBN978-4-09-296707-6(11)  
ISBN978-4-09-296708-3(12)

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09296706>(10)  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09296707>(11)  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09296708>(12)

酵素も摂れる！美やせの低糖質パワーサラダ

## もっとやせる！キレイになる！

ベジたんサラダ50

野菜十たんぱく質、食べる美容液レシピ2

Atsushi・著

TVでお馴染みAtsushiの最新サラダ本は、切って、混ぜて、和えるだけ。具材盛りだくさん、養価たっぷりのサラダは、味はもちろん腹持ちも◎。ひと皿で完結する主役サラダで美容とダイエットを叶えます。本を開いたまま料理ができる装丁です。



5月19日発売  
定価：1,485円(税込)  
A5判／128ページ  
ISBN978-4-09-310682-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310682>

いつだって、僕らは本と生きてきた。  
「P+D BOOKS」今月のラインアップ

## 金環蝕(下)

石川達三・著

総理官邸と電力開発会社、建設会社は、錬金の仕組みを完成させる。国会議員神谷直吉は、政財界の裏情報を握る石原参吉らの協力を得て不正を暴こうとするが……。社会派作家・石川達三が描いた名作の完結編。

定価：715円(税込) B6判／238ページ

ISBN978-4-09-352415-5  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352415>

## つむじ風(上)

梅崎春生・著

失業中の浅利圭介は、轢き逃げに遭った松平陣太郎と結託して、賠償金をせしめようとする。犯人の候補は公衆浴場の主人と流行作家。そこに浴場同士の争いや作家の美人秘書らが絡んでくる……。名ユーモア小説の前編。

定価：880円(税込) B6判／370ページ

ISBN978-4-09-352416-2  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352416>

5月13日発売(配信(ペーパーバックとデジタルで同時、同価格)  
<https://pdbooks.jp>

小学館スクウェアの本

発行元 小学館スクウェア

## のっぽスギ森のゆうびんきよく

邑ひさし・著

「はがきの木」といわれるタラヨウの木。ひとり立ちした子リスのチコルは、その木に住みはじめます。ある日、葉っぱにかかれた謎の手紙が舞い込んで……。のっぽスギ森でゆうびんきよく長として、森の動物たちの大切な「お手紙」を配達するチコルの「手紙」をめぐる九つのおはなし。



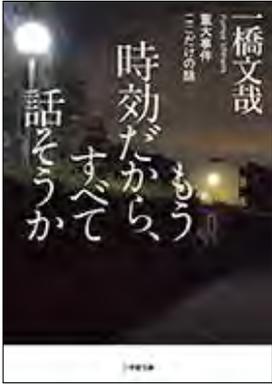
5月19日発売  
定価：1,320円(税込)  
A5判／192ページ  
ISBN978-4-7979-8855-0

小学館文庫

## もう時効だから、 すべて話そうか 重大事件ここだけの話

一橋文哉・著

殺人、未解決事件や、闇社会が絡んだ経済犯罪などをテーマに、ノンフィクション作品を次々と発表してきた『覆面ジャーナリスト』一橋文哉氏。著者の原点となったグリコ森永事件から、三億円強奪、酒鬼薔薇聖斗、オウム真理教、和歌山毒カレー、尼崎連続変死、世田谷一家惨殺、餃子の王将社長射殺、清原和博覚せい剤、山口組分裂など、著者しか知り得ない事件の独自ネタや、事件の背景など、今だからこそ語れる話が次々と明かされる。著者の既刊にはない魅力が満載。



◆一橋文哉(いちしはし・ふみや)  
 東京都生まれ。全国紙・雑誌記者を経てフリージャーナリストに。「ドキュメント」が1人21面相の正体(雑誌ジャーナリズム賞受賞)でデビュー。後事件ノンフィクション著者多数。

5月7日発売  
 定価:836円(税込)  
 文庫/368ページ  
 ISBN978-4-09-407011-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407011>

小学館文庫

## 私の夫は冷凍庫に 眠っている

八月美咲・著

結婚以来、夫である亮の暴力に耐え続けてきた夏奈は、ある夏の日、ついに亮を殺してしまふ。死体の隠し場所に困った夏奈は、亮の死体を物置の冷凍庫に隠す。しかし翌朝、何事もなかったように帰宅したのは——殺したはずの亮だった。しかも暴力的だった亮は、人が変わったように優しくなっていた。いったい何が起きているのか。笑顔を向ける亮に恐怖する夏奈。やがて、夏奈の心の中に「もう一度、殺るしかない」という想いがよぎり……。ラストの一行まで怖すぎる! 人気小説サイト「エブリスタ」発。男と女の愛と憎しみを描く、衝撃のラブ・サスペンス!



◆八月美咲(やつき・みさき)  
 小説投稿サイト「エブリスタ」にて恋愛純愛小説の投稿を中心に活動を行う。2019年に執筆した「私の夫は冷凍庫に眠っている」は実写ドラマ化され話題を集める。

5月7日発売  
 定価:704円(税込)  
 文庫/272ページ  
 ISBN978-4-09-407012-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407012>

小学館文庫

## キヤラクター

長崎尚志・著

漫画家デビューを目指してアシスタント生活を長く続ける山城圭吾は、ある日、「誰が見ても幸せそうな家」のスケッチを頼まれる。前から気になっていたその家を訪れると、暗闇の中から大音響でオペラが流れていた。家の玄関ドアが開き、手招きに促されるようにして家のなかに入ると、そこには殺害された家族四人の姿があった。「ぼくの顔、見た? 見ちゃったよね」第一発見者となった山城は、その現場でひとりの人物を目にしていた。やがて、彼はその事件をモデルにした漫画でデビューする。家族四人殺害事件も続いていた。



◆長崎尚志(ながさきたかし)  
 小説家、漫画原作者、漫画編集者、出版社勤務後、独立。2010年「アルタン」タナト「東方見聞録」で小説家としてデビュー。関の伴走者、醍醐寺の博覧強記ファイルはWOWOWで連続ドラマ化。他に「県警緊急犯罪アドバイザー 久井重吾」シリーズ、「風はずっと吹いている」など。

5月7日発売  
 定価:825円(税込)  
 文庫/352ページ  
 ISBN978-4-09-407013-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407013>

小学館文庫

## 祝言島

真梨幸子・著

二〇〇六年に起きた「十二月一日連続殺人事件」。被害者三名の知人・七鬼紅玉は警察の取り調べ中に姿を消し事件は未解決のまま。実は、彼らにはもう一つ共通点があった。それが「祝言島」である。二〇一七年、映像制作会社で働く九重皐月は「祝言島」に関わる人々の再現ドラマを手にする。都市伝説とも言われる島の、忌まわしい記録がそこには収められていた。「祝言島」開拓に端を発する女性三世代の数奇な運命。連続殺人の真犯人と、その驚くべき動機とは。張り巡らされた伏線にラストまで目が離せない。二度読み必至の超絶技巧ミステリー!



◆真梨幸子(まり・ゆきこ)  
 1964年、宮崎県生まれ。2005年「孤虫症」でメフィスト賞を受賞しデビュー。「11年文庫」殺人鬼フジコの衝動」がベストセラーに。「鶴鶴様の惨劇」聖女か悪女など著書多数。

5月7日発売  
 定価:913円(税込)  
 文庫/432ページ  
 ISBN978-4-09-407014-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407014>

小学館文庫

消された信仰  
 「最後のかくれキリシタン」  
 長崎・生月島の人々  
 広野真嗣・著

250年以上も続いた弾圧のなかで信仰を守り続けた「かくれキリシタン」たち。その歴史に光を当てようとしたのが、2018年に世界遺産となった「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」だ。ところが、PRのために長崎県が作ったパンフレットからは、「最後のかくれキリシタンが暮らす島」の存在がこっそり消されていた。

島の名は「生月島(いづつきしま)」。今も島に残る信仰の姿は、独特だ。取材を進める中で、著者はこの信仰がカトリックの主流派からタブー視されてきたことを知る。一体、なぜ――。

◆広野真嗣(ひろのしんじ)  
 1975年、東京都生まれ。ノンフィクション作家。神戸新聞記者を経て02年に猪瀬直樹事務所スタッフとして入所し、15年10月よりフリーランスとして独立。本作で第24回小学館ノンフィクション大賞受賞。

5月7日発売  
 定価:726円(税込)  
 文庫/288ページ  
 ISBN978-4-09-407015-6



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407015>

小学館文庫

胸が鳴るのは君のせい  
 豊田美加・著/紺野りさ・原作  
 横田理恵・脚本

明るくてしっかり者の篠原つかさは、マイペースで何を考えているか掴めないイケメン転校生・有馬隼人に心を奪われ、意を決し想いを伝えるがフラれてしまう。その後も変わらず優しい有馬を嫌いになることができないつかさは、有馬にこれからも好きでいる決意を伝える。ある時つかさの前に、有馬の元カノだという美少女が現れて――。

累計発行部数250万部を突破した大ヒット少女コミックが実写映画化(2021年6月4日公開)！主人公・有馬を浮所飛貴(美少年/ジャーニーズ Jr.)、ヒロインのつかさを若手女優・白石聖が演じる。共感必至の青春恋愛ストーリー、完全ノベライズ！

◆豊田美加(とよだ みか)  
 大分県出身。ノベライズ著書多数。  
 ◆紺野りさ(こんの りさ)  
 代表作に『片恋ドロップス』など。  
 ◆横田理恵(よこた えい)  
 主な作品に『リトルの涙』など。

5月7日発売  
 定価:550円(税込)  
 文庫/192ページ  
 ISBN978-4-09-407016-3



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407016>

小学館文庫(キャラクター！)

蟲愛づる姫君  
 後宮の魔女は笑う  
 宮野美嘉・著/碧風羽・イラスト

玲琳と鐘牙の結婚から8年。魁国の双子の王子と王女は五歳の誕生日を迎えていた。その祝いの席に、人の未来を予言できる紅玉という女性が現れた。その後、国内で怪事件が頻発し、玲琳は真相究明に乗りだが……？

定価:660円(税込) 256ページ  
 ISBN978-4-09-407017-0  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407017>

浅草ばけもの甘味祓い  
 兼業陰陽師だけれど、  
 鬼上司が記憶喪失に!?  
 江本マシメ・著/漣ミサ・イラスト

長谷川係長が遥香に関する記憶を失ってしまった!? もう以前の二人には戻れない……遥香が選んだ道は？ 浅草を舞台に繰り広げられる、兼業へっぴょこ陰陽師と鬼(↑ホンモノ)上司の禁断ラブコメディ、第四弾！

定価:660円(税込) 288ページ  
 ISBN978-4-09-407018-7  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407018>  
 5月7日発売 文庫判

File

File

File

file

file

file

file

file

file

小学館時代小説文庫

さんばん侍(二)  
 麒麟が翔ぶ

杉山大二郎・著

老中格田沼意次に狙われた酒問屋麒麟屋と田中藩を救うため、駿河国藤枝の蔵元まで急ぐ颯馬。銘酒にも負けぬ美味の藤醉を仕入れられなければ、万事休す。道中、刺客に襲われながらも、なんとか沼津まで辿り着くが、目の前には橋から身投げしようとする男が！引き止めて話を聞けば、五十両を掏られてしまったというではないか。死んで詫びようとする男に、颯馬は命が大ごと、店から預かった手付け金すべてを渡してしまうのだった。蔵元に着きはしたものの、手ぶらの颯馬はどうするのか？ 待ち受ける数々の困難を乗り越えられるのか？



◆杉山大二郎(すぎやまだいじろう) 1960年、東京都生まれ。営業革新分野では国内第一のコンサルタント。著書に『至高の営業』『ザ・マネジメント』『嵐を呼ぶ男！ NOBUNA GA』がある。

5月7日発売  
 定価：726円(税込)  
 文庫／288ページ  
 ISBN978-4-09-407019-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407019>

小学館時代小説文庫

くさまくら  
 万葉集歌解き譚

篠綾子・著

万葉集ゆかりの地、伊香保温泉への旅は、しづ子と母親の八重、手代の庄助に小僧の助松、それに女中のおせい、の総勢五人。護衛役は陰陽師の末裔・葛木多陽人だ。無事到着した一行だったが、多陽人が別行動を願いだした。道中、なにか気になったものがあるらしい。しかし、約束の日時が過ぎて戻ってくる気配がない。八重の命で捜索に向かった庄助と助松の胸に、国境の藤ノ木の渡しで目にした人形祓いが重くのしかかる。この烏川の上流になにかあるにちがいない。川を遡り始めた二人が霞の中に見たものは――。「万葉集歌解き譚」シリーズ第三弾。



◆篠綾子(しのあやこ) 埼玉県生まれ。東京学芸大学卒業。『青山に在り』で第1回日本歴史時代作家協会賞受賞。『夏影屋おりん』で第6回歴史時代作家クラブ賞(シリーズ)受賞。

5月7日発売  
 定価：759円(税込)  
 文庫／304ページ  
 ISBN978-4-09-407020-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407020>

小学館時代小説文庫

鍛ヶ崎心中  
 幕末宮古湾海戦異聞

平谷美樹・著

明治時代の幕開け、幕府の再興を信じて闘う名も無き多くの若者たちが血を流していた。舞台は盛岡藩宮古。鳥羽伏見に端を発し箱館戦争に至る旧幕府と新政府が死闘を繰り広げる戊辰戦争。宮古湾鍛ヶ崎には、幕府の復活を信じて忠誠を誓う男、青年・七戸和磨の姿があった。そんな男に思いを寄せる千代菊。時代が刻々と変化する中で、変わらぬ絆を求め、せめぎ合う女・千代菊と、どうせ時代が変わるならと命をも捨てる覚悟の男、和磨。新政府軍と旧幕府軍が相まみえた宮古湾海戦で待ち受ける二人の運命は……？



◆平谷美樹(ひらやよしき) 1960年、岩手県生まれ。大阪芸術大学卒業。2000年、第1回小松左京賞受賞。代表作に『風の王国』シリーズで歴史作家クラブ賞(シリーズ)受賞。代表作に『てんでら国など』。

5月7日発売  
 定価：836円(税込)  
 文庫／368ページ  
 ISBN978-4-09-407021-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407021>

